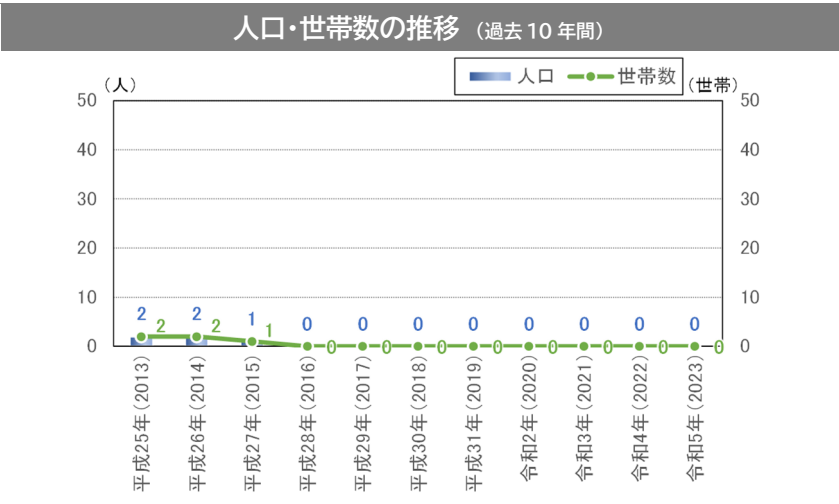


桧尾 (ひのきお)

人口・世帯数等 (令和5年4月)	
人口	0人
世帯数	0世帯
高齢化率	-%
年齢別人口割合	
-	



区域の概要

立地 集落の周囲を山に囲まれた標高350m以上の高地に家屋が散在していた地域である。

地名由来 山頂部に位置する地名とされるが、不明である。

歴史等 早くから開かれており、かつては9つの寺があったといわれる。このことは、字寺田、字オオツキに寺屋敷、観音堂の横に寺屋敷、シカドウ屋敷等の地名や、平安時代の仏像が祀られていることからもうかがえる。

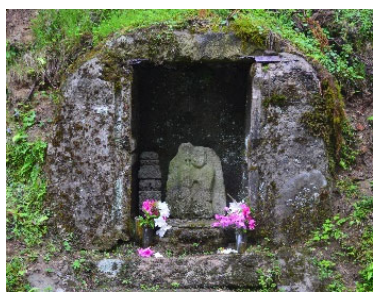
近世の桧尾村は、天正11年(1853)因幡国鳥取城主宮部氏領、慶長10年(1605)旗本宮城氏知行、寛永20年(1643)幕府領、寛文8年(1668)からは豊岡藩領となった。天保5年(1834)の『但馬国郷帳』(天保郷帳)の村高は27石余。

明治22年(1889)温泉村の大字となり、昭和2年(1927)からは温泉町の大字となる。明治24年(1891)の戸数18、人口は男51・女46。平成28年(2016)に無住となった。

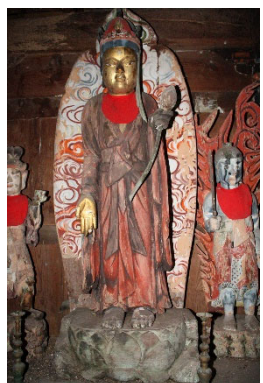
これまで把握している文化財

文化財の件数 8件 (うち指定等文化財 0件)

大分類	中分類	小分類	把握件数	指定等		
有形文化財	建造物	建築物	0	6	0	
		石造物	1		0	
		工作物・その他の構造物	0		0	
	美術工芸品	彫刻	5		0	
		絵画	0		0	
		工芸品	0		0	
		書跡・典籍	0		0	
無形文化財		古文書・歴史資料・考古資料	0	0		
		音楽	0	0		
		演劇	0	0		
		工芸技術	0	0		
		その他の無形文化財	0	0		
		信仰の場	2	0		
		祭具	0	0		
民俗文化財	有形の民俗文化財	民具	0	2	0	
		その他の有形の民俗文化財	0		0	
		年中行事・民俗芸能	0		0	
	無形の民俗文化財	民俗技術	0		0	
		食文化	0		0	
		民間説話・俗信	0		0	
		その他の無形の民俗文化財	0		0	
記念物	遺跡	散布地・集落跡・生産遺跡	0	0	0	
		古墳・その他の墓	0		0	
		城館跡・寺社跡	0		0	
		街道・古道等	0		0	
		戦争遺跡	0		0	
		その他の遺跡	0		0	
	名勝地	山岳・高原・丘陵	0		0	
		海岸・海浜・島嶼	0		0	
		河川・滝・溪谷・湖沼	0		0	
		公園・庭園	0		0	
	動物・植物・地質鉱物	動物	その他の名勝地		0	0
			動物		0	0
			植物		0	0
文化的景観		地質鉱物	0	0		
		生活・生業・風土により形成された景観地	0	0		
伝統的建造物群		宿場町・城下町・農漁村等	0	0		



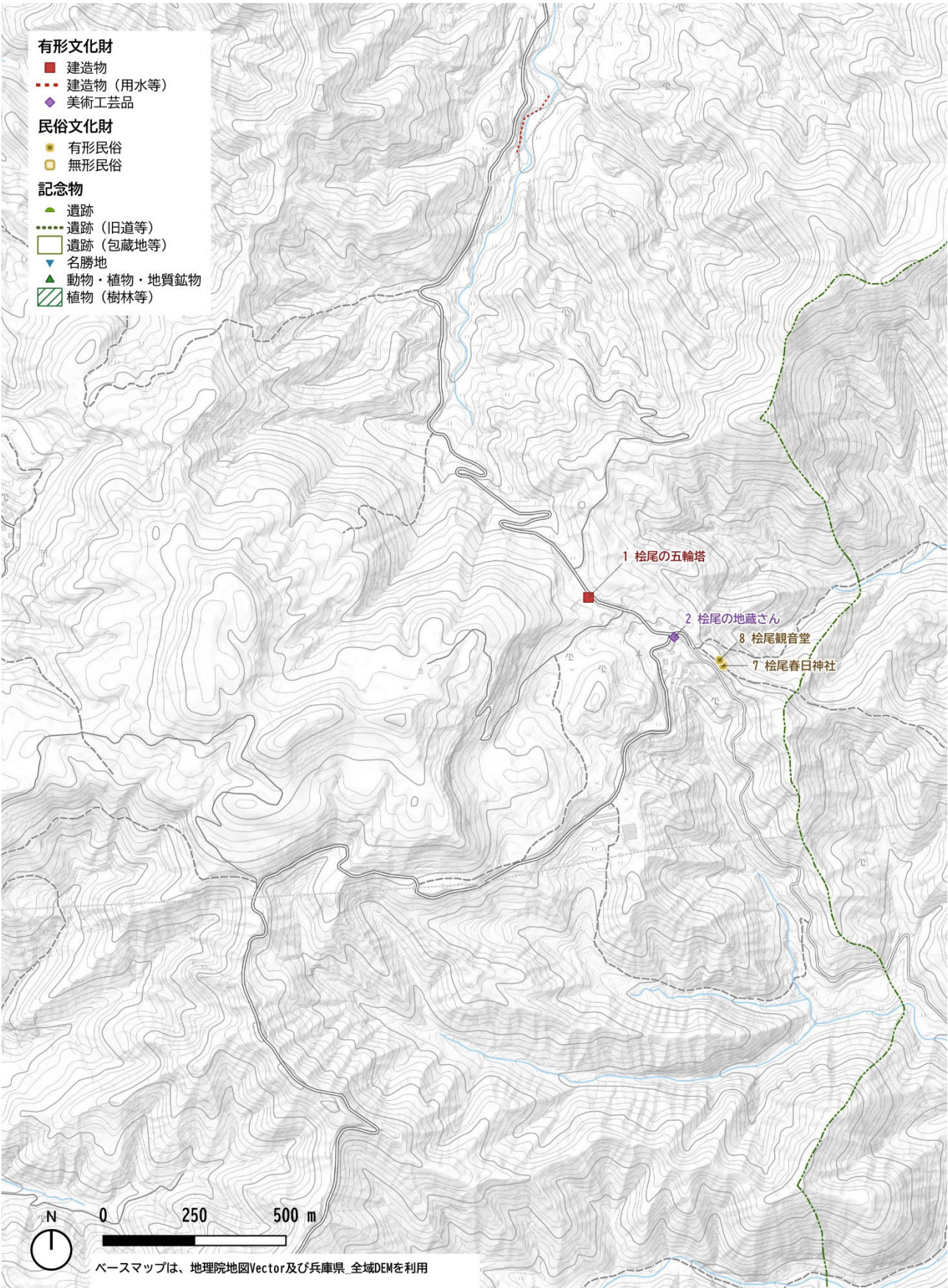
桧尾の五輪塔・地藏さん



桧尾観音堂の十一面観音菩薩

※人口・世帯数は住民基本台帳(令和5年4月現在)による。

文化財の分布



※所在地の掲載可能なものに限る

4-12 桧尾

文化財の一覧

■ 有形文化財／建造物

分類	番号	名称	概要
石造物	1	桧尾の五輪塔	40×14cm の石塔（五輪塔）。桧尾の峠を桧尾側に少し下った道沿いにある。石仏とともに安置されている。

■ 有形文化財／美術工芸品

分類	番号	名称	概要
彫刻	2	桧尾の地藏さん	45×35cm の石像。桧尾の峠を桧尾側に少し下った道沿いにある。峠地藏と思われる。
	3	桧尾観音堂の十一面観音菩薩	163×38cm の十一面観音菩薩像。観音堂に安置されている 4 体の像のうち中央のもの。一部金箔があるが損傷が著しい。古老によると、寛政 9 年（1797）に 1 本の木を持って清富の観音、桧尾の観音、高山の観音が作られたという。桧尾の観音は 60 年目に供養が開かれることになっている。特に皮癬（かいせん虫の寄生で起こる伝染性皮肤病）に霊験あらたかで、この像を本尊として九カ寺があったという。
	4	桧尾観音堂の不動明王	100×20cm の木像。観音堂に安置されている 4 体の像のうち右側のもの。
	5	桧尾観音堂の毘沙門天	123×40cm の木像。観音堂に安置されている 4 体の像のうち左側のもの。
	6	桧尾観音堂の薬師如来	38×17cm の木像。観音堂に安置されている 4 体の像のうち左側後方のもの。

■ 民俗文化財／有形の民俗文化財

分類	番号	名称	概要
信仰の場	7	桧尾春日神社	祭神は天兒屋根尊。応永 34 年（1427）10 月 11 日、奈良の春日神社より御尊体を請願して、当村の氏神とした。これは野鹿に作物を荒らされたため、奈良から鹿の木像を勧請して祀ったものであり、以後は害を受けなくなったという。もとは春日大明神白山大権現といていたが、明治初年（1868）に春日神社と改称するとともに、村社に列せられた。境内には素戔鳴尊を祀る須賀神社がある。
	8	桧尾観音堂	春日神社すぐ下の平地に位置する。「落書堂」と呼ばれて親しまれ、この峠を越える多くの旅人が祈願をし、雨宿りをしたほか、寒さには囲炉裏で暖を取り、一夜のこもりをしては、板や柱に思い思いに自分の名前を記して去った。中には生国が讃岐（香川県）の名も見え、往時の賑わいが知られる。

